『毎日更新!!のじり苑ブログ』 http://nojirien.livedoor.biz/

先月12月分のブログより一部ご紹介致します。



「耳」

(12月8日)

先日、利用者様の耳かきをしました。

大きい耳から小さな耳の持ち主まで、いろいろな耳に 会いました。

中には、福耳!?のような利用者様も居ました。 その利用者様曰く・・・

『福耳でも、お金は貯まらん!貯まって膨らむのは、お 腹だ!!』と笑っていました。

それを聞いていた、他の利用者様も頷いていました。 他にも面白意見がありました。

耳そうじをして、驚く程綺麗なんです。

綿棒は白かった・・・。

田邊



「入浴」

(12月15日) 🕌

今日は久々の日勤で、久々の入浴当番でした。

「あんたの湯っこが一番いい」など言われ、お世辞でも 嬉しかったです。

久々に入浴してみると、利用者様の体の変化などがは **(**っきりわかります。

この前は立てなかった利用者様が、今日の入浴ではスッと立ち、どうやって介助したらうまく立つことが出来たのかスタッフ間で情報交換できたりもします。

このような情報を共有し、より良いケアをしていきたいと思います。

高坂



「あとわずか・・・・」

(12月17日)

早いもので、12月も折り返してしまいました。

利用者様の話題も、お正月が来るな、いつ自宅に戻るのかなと落ち着かない様子・・・。

我が家ではお正月の前のサンタさんの話題ばかりです。

それにしても1年が経つのはあっと言うまですね。

<u>今月お誕生日を迎える方</u>

1月5日 木村 戸子様 (78歳)

1月16日

吉田 武士様 (82歳)

1月17日

佐々木 きえ様(98歳)

1月20日

高橋 照江様 (80歳)

今日の行車子字

今月の行事予定

1月5日 木村戸子様誕生日会

1月16日 吉田武士様誕生日会

1月17日 佐々木きえ様誕生日会

1月20日 高橋照江様誕生日会

m

1月26日 焼き肉外食

26日の焼き肉は、皆様前日からとて も楽しみにされており「早く行きたい」と 話されていました。

当日になって行き、 皆様が口にすると揃っ て「うまい!」と言っ て満足された様子で、 良かったです。 成田



ILABQE & LABQE & LABQE & LABQE & L

グループホームのじり苑

〒030-0122 青森市野尻字今田58-1 TEL 017-738-6863 FAX 017-728-6448

TEL 017-738-6863 FAX 017-728-6448

http://nojirien.livedoor.biz/ ホームページ

http://www1.ocn.ne.jp/ nojirien/ メールアドレス

nojirien@circus.ocn.ne.jp

佐々木

*

第13号 2008.1.1 発行

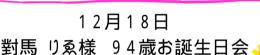
認知症対応型高齢者グループホーム

『のじり苑』新聞

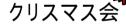




皆様こんにちは。新春とは申しながら、きびしい寒さですが、いかがお過ごしでしょうか? のじり苑では先月クリスマス会があり、サンタさんからクリスマスプレゼントや、みんなで ケーキを食べて、利用者様、職員一同楽しく華やかに一年を締める事が出来ました。 今年も一年、楽しく華やかに過ごせますようのじり苑を宜しくお願い致します。







クリスマス会では、利用者の皆さん全員でおいし

いケーキを食べました。おいしいケーキを召し上が

った後は、サンタさんからのプレゼントでした。そ れはなんと「ごはん茶碗」だったのです!利用者様

の一人の吉田様の茶碗は茶色で渋い感じのなんとも

いえない色合いのものでした。「これいいね!」とご

今日は、私の担当利用者様である對馬さんのお誕 生日です。朝一番に「おめでとうございます!」と 言ったら『何もいいね』と照れ笑いされていました。 お誕生日会では、キョトンとした表情で色紙を見 つめておられ、『これ、わだが?!』と苦笑い。

ケーキは苦手という事で、職員と利用者様手作り の、あんこ入りドーナツでお祝いしました。

ちゅーりっぷユニットだけでは なく、隣のユニットの利用者様に も職員にも大人気の對馬さん。こ れからもみんなで楽しく暮らしま しょうね。







中村

認知症への理解

認知症の方の中に、「最近息子から連絡がない」「顔を見せに来ない」などといった理由で、自 宅への電話要求や帰宅要求があります。

でもこれは、誰にでも考えられることで、自分の息子の事が心配になったりすることは、親とし て当たり前だと思います。その不安を軽減する方法は、家族本人の声を聞かせてあげることなのだ と思います。これは家族しか出来ない、一つの不安の解消法だと思います。